

# 新年のごあいさつ

弥富市長 安藤 正明



明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

このたび、市長として市政の舵取役の大任を預かることとなりました。責任の重大さを痛感し、市発展に向けて努力を重ねていく所存であります。

市政運営に当たりましては、歴史・伝統・文化に学び、新しい「弥富市」へチャレンジしてまいります。

その方向性として、三つのスローガンを掲げ取り組んでまいります。

一つ目として、「健やかに暮らせる、安心で安全なまち」となるよう、人口減少・少子高齢化の進行を踏まえたまちづくりの促進、公共施設の再配置やインフラ施設の更新を踏まえた持続可能な行財政運営への対応、子育て支援・高齢者福祉・障がい者福祉など保険・医療・福祉分野の充実、誰もが安心して学べる教育環境や学習環境の整備、市民の皆様との協働・共助の仕組みづくりやコミュニティづくりの促進などを図ってまいります。

二つ目として、「地域産業が元気で、生き生きと働けるまち」となるよう、商工業を中心とした

地域経済力向上の促進、活力ある農水産業の振興と農産品のブランド強化、若い世代を呼び込む次世代産業を始めとした企業誘致と雇用の創出などに取り組んでまいります。

三つ目として、「人が行き交い、魅力と賑わいあふれるまち」となるよう、地域の特性・資源を活かした多彩な観光振興や交流拠点の創造、市の玄関口として駅前周辺の活性化と賑わい創出などに取り組んでまいります。

弥富市において本年は、一昨年から協議検討を重ね策定に取り組んでまいりました、今後十年間のまちづくりの指針となる「第2次弥富市総合計画」のスタートの年であります。弥富市の輝かしい未来への道筋となるこの計画のもと、各施策事業に取り組んでまいれる所存であります。

弥富市に暮らすことで市民の皆様が幸福を感じていただけますよう全力を尽くしてまいりますので、市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が、市民の皆様にとりまして、素晴らしい年になることをお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成三十一年元旦

# 謹賀新年

弥富市議会議長 堀岡 敏喜



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた平成三十一年の新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げますとともに、日頃より市議会の運営に対し、温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の日本は、自然災害が各地で発生しております。昨年は、西日本を中心として発生した平成30年7月豪雨、8月から9月にかけては台風20号、21号および24号が非常に強い勢力で各地に上陸し、甚大な被害をもたらしました。9月には、北海道胆振東部地震が発生し大きな被害をもたらしました。そのような中、本市においては、災害時における防災拠点機能となる新庁舎建設工事が進んでいます。災害時における防災拠点機能の整備を図りまして、市民サービスの向上並びに市民の皆様などにとっての安全性に寄与するものであります。

いつ私たちが災害に遭うか分からない状況の今日、常日頃から災害対策に万全を期しておく必要があり、防災・減災対策の強化を図り、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりの推進に

市議会といたしましても努めてまいります。

一方、少子化対策、超高齢社会への対応、社会保障問題をはじめ、公共施設の老朽化対策など、本市では、まだ多くの重要課題が山積しています。弥富市議会では活発な議論を重ね、二元代表の下、しっかりと役割を果たしていく所存です。

また、独自の議会運営のルールとして制定した議会基本条例を遵守し、実践することにより、市民に信頼され、存在感のある議会を築く姿勢を継続し、開かれた議会の推進にも努めてまいります。今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして明るく希望に満ちた素晴らしい年となりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成三十一年元旦